大坪流馬術秘伝書

一 [illegible]

有り是ハ馬のこゝろ[illegible]欲ハ人と[illegible]

[illegible]也有口伝也人のるなと心を[illegible]

ぬるゆ乗[illegible]やう[illegible]手綱取様[illegible]

[illegible]二足三足の[illegible]

心[illegible]れた欲ハ[illegible]

人の欲のゆ[illegible]

いう移[illegible]

つ[illegible]

[illegible]特るの陰口あ[illegible]

[illegible]門よるのハ[illegible]

[illegible]也此[illegible]一ツ秘こ

一 ハゆ乗[illegible]有口伝也[illegible]

よる[illegible]ハ[illegible]

いう[illegible]

[illegible]を山をみよ[illegible]

ハゆ或ハ左や[illegible]或[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

右口伝

右口伝

一 [illegible]

右口伝

右口伝

一 [illegible]

右口伝

右口伝

一本角之事

一小角之事

此手綱之為体は右の如く口の内へ通し口の内へ通し口の内へ通し

[illegible]

一 撰歩之事

口傳あり右へ[illegible]

[illegible]

[illegible]

世人相[illegible]故ゆ
あるべきなり

一 鞭[illegible]支方口傳鞭[illegible]
[illegible]也[illegible]
[illegible]鞭下とつま
[illegible]鞭[illegible]
の方よりとるる心持のをしい

一 方[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 [illegible]の靜[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

あ〳〵ゝ故、口伝川直せ、つれて
人馬ゝ行ゝと国忠ゝ中也

一 先ゝ者ゝ文ゝ先ゝ者ゝれゝ是ゝ者ゝ
先ゝ此ゝ者ゝ口ゝ伝ゝ先ゝ間ゝ出ゝ〳〵ゝ
新ゝ中ゝ元ゝ馬ゝの口ゝ有ゝ〳〵ゝ心ゝ前ゝ示
ゝ有ゝるゝのゝ人ゝ仰ゝ〳〵ゝ余ゝの一ゝる
口ゝ別ゝ有ゝ所ゝ者ゝ〳〵ゝ先ゝ先ゝ
ゝ先ゝ仰ゝ〳〵ゝ文ゝ文ゝ馬ゝ手ゝ余ゝ除ゝ此
除ゝ仰ゝ〳〵ゝ心ゝ持ゝ〳〵ゝ有ゝ結ゝ〳〵ゝ者ゝ
ゝ先ゝ有ゝ〳〵ゝ文ゝ文ゝの心ゝ仰ゝ〳〵ゝ振ゝ先ゝ
ゝ者ゝ〳〵ゝ諸ゝ警ゝ〳〵ゝ除ゝ一ゝ〳〵ゝ伝ゝ文ゝ

一 大幕〳〵ゝ文ゝ

右口傳

一 小幕〳〵ゝ文ゝ

ゝ川〳〵ゝ仰ゝ時ゝ者ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ
ゝて〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝれゝ者ゝ也ゝ仕ゝ
ゝ〳〵ゝ〳〵ゝの頭ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ
ゝ〳〵ゝて〳〵ゝ組ゝ者ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ
ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ
ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ
ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ

一 〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ
ゝ

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [

一半川

まつらかたとは川岸にの
ぶ平口伊万里の勝い秀のゆる川也
名ゆ北里世六前肝要なりたよ
勝い番匠のあ所をゆしるすら
のあの心得なるまき口のつまふく
要き口に伝て伝ふ子すまて先ま
いりいりと雨ふる物ふやた
ふやまい時分虎川此の手原川
ふ先ふりと云也ち志ち也ち馬
心前のち伝の荒割の石ふんな
をかけて伝ふうふんとし
ちる者ふ所ふ所をつ也諸れ絵て
とい片手絵をつ
ハ左右の手絵何少ふふ同様よ
なる伝又たハやふり伝ふ片手絵
口ふ合ふふよれ也ふふんの
かゆふるといふもう有ふ能
磨ふまとふ世君ち伝の手絵の
所稽いまの間を手絵十文字ふ書て
面の手絵ハ一度ふふ片手ふて
ふいまの間ぬ所ふふふふ
ちりとハ手絵ハわるふふて後シ
手絵のふとふ左右ふふりいを
ふふふふ手綱をふふふふふふふふ
ふふ馬の口ハゆふふふふふふ
能ふふる口ハ也ふふふふふふふふ
弟西ふ才一磨ハちふふふふふ
ふふ強ふふふふ能ハ伝勝ハ伝る事
ふふふい磨ふふふふ穂ハ荒割ふ
ふふふふふふふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふふふふふふふ
ふふふふふふふふふふふふふふふ

口よゝ痛故悪しく元来弱き
ものは口よゝ何の故ゝ口苦を潜行
る法(まこと)也さ様ゝゆるめ又川
を渡る支口毒の所に位を口に
よりゆるむ時ゝ川時ゝ泳ぐ時
川口もこの左ゝゝ一通ゝ新言者
也中ゝ力とまゝこの人屋支ゝ弱口
いゝゝみゝ行ゝさゝ左ゝ口ゝ
面ゝ川ゝ行ゝゆるゝて高ゝ真潜
ゝつゝゝゝ力ゝ行ゝゝ紙歩ゝ
弱口ゝゝ馬の痛故ゝ左ゝ曲ゝ
ゝ[illegible]ゝ痛ゝ
也ゝ又ゝ左口ゝゝゝ
法ゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝ

以也世時日の内つゝまし不可の内つゝ
西〳〵先いたす才一の秘も也薄紙と
うゝ見しゝ細也素変に不及なり
引と潜の以格也とゝ世中に
〳〵〳〵〳〵て夏ようち考る潜
十り是世始〳〵京下まゝ之
ようい口何ゝるとゝものゝ考ゝ為馬
上やゝの口ゝ多ゝに口落〳〵のきい
口の硯に為る之翻るるの口以引之
ゝの先〳〵口世ゝ雅宗又
撫いゝ始いゝ以星引と名付君之〳〵
きいゝ始いゝ遠引と名附まゝ之始
ハまゝ〳〵引ゝ以名付なるまゝ引の
高又見ゝ〳〵ゝ〳〵ゝ〳〵